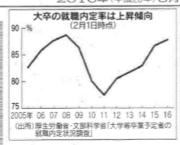


2016年3月31日(木) 日本経済新聞 に掲載されました。

2016年(平成28年)3月31日(木曜日)



りと、思い切った手を打つ例もある。 る見通しで、人材確保に向けた競争 て今後、新卒採用はさらに厳しくな 変更で、各社の採用環境は例年以上 借りた奨学金の返済を肩代わりした は激しくなりそうだ。 に厳しくなっている。少子化に伴っ 人手不足や新卒採用のスケジュール 用に知恵を絞っている。学生時代に 首都圏の中堅・中小企業が新卒採 地方出身者向けに寮を用意した

汗とアイデア

クロスキャット 奨学金返済肩代わり



手の確保につなげる。 環境を整えて、優秀な若 らし、仕事に専念できる

の貸与型奨学金を受給 ム開発を手掛けるクロス のボーナス支給時に、 奨学金の返済を属代わり キャットは、新入社員の ーナスとは別に100万 し、2017年春に入社 本学生支援機構や自治体 する制度を導入した。日 する社員が対象。17年冬 金融機関向けにシステ

東京商工会議所やハローワークな ども、企業説明会を開いて中小の 採用を支援する(昨年の様子)

のシステムエンジニアの一況。少しずつ職人を育て

女性の総合職を採用

前後にとどまっていると 際に採用できるのは20人

ションは、若手社員向け の寮を用意した。同社は へ、 かいじコンストラク

建設業界での人材不足を | う。そこで、新卒は幹部 本社ビル内に寮 東京都江戸川区の内装 る例が増えているとい が理想だが、若手の確保 が難しく、近年は人手が 足りずに出店をあきらめ に立って仕事を覚えるの

実績を残す傾向にあると

末時点で約17万人。新入し、店舗にアルバイトの 滞している人は、14年度 ン店を展開する銚子丸 の奨学金を3カ月以上延一る。首都圏で寿司チェー いう。日本学生支援機構一りようという企業もあ 採用を計画。しかし、実|て安定した仕事の確保に は約370人で、半年前 留学生を配置するように つなげたい」と話す。 に比べて倍増している。 した。15年秋の留学生数 新卒採用した社員が店 外国人留学生の力を借 年春の採用に向け、建設 和久環組 (横浜市) は17 りにくく、採用活動には 集をかけても人数が集ま を伝えられる」(今月油 ・不動産業では少ない女 模改修)などを手がける 苦戦していたという。 業部門も女性社員が高い 約半数が女性社員で、営 性の総合職採用を進めて 志社長)。 リノベーション(大規 新卒採用の真

紅員の経済的な負担を減

倍増しているという。 り、説明会への参加者が でとは様変わりした」(広 円を上限に支給する。 に本社を移した効果もあ|が中心で、現在は社員に 3月に本格的に採用活 同社は毎年、最大30人 あるが、職人がいない状 品川シーズンテラス」 したJR品川駅近くの 職人はいない。石原正美 打ち合わせなど管理業務 りくりや、建設会社との ビルの部屋を改装して4 社長は「業界では仕事が て採用したい考えだ。 地方の高校生を職人とし 部屋を寮に充てており、 同社の事業は職人のや

としている。

いる。 約半数が女性社員で、 性の総合職採用を進めて 年春の採用に向け、 が女性でも構わない 採用する予定だが「全員 いう。今年は15人程度を 実績を残す傾向にあると 業部門も女性社員が高い 和久環組(横浜市) 模改修)などを手がける 不動産業では少ない女 リノベーション 既に設計部門では は17 建設 営

育景に、自前で職人の育一候補生の採用に絞りこ「社)としている。

が女性でも構わない」(同

採用する予定だが「全員 いう。今年は15人程度を